

MSM 及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較(2) -Community-Based Organization による HIV 予防啓発活動のプログラム評価-

研究分担者：本間隆之（山梨県立大学看護学部 講師）

金子典代（名古屋市立大学看護学部 准教授）

研究協力者：岩橋恒太（特定非営利活動法人 akta）、荒木順子、佐久間久弘、木南拓也（公益財団法人エイズ予防財団/特定非営利活動法人 akta）、柴田恵、阿部甚兵、大島岳（特定非営利活動法人 akta）、市川誠一（人間環境大学大学院看護学研究科）

研究要旨

本研究は、Community-Based Organization (CBO) が実施している HIV/AIDS 予防啓発活動を、介入プログラムとして記述することにより、適切なプログラム評価指標を策定すること、さらにそれらの指標を実際に測定することで、コミュニティへの HIV 予防啓発活動の進展度合いや啓発活動の有効性、改善点の検討といったプロセス評価を行うことを目的としている。《調査 1》新宿二丁目内のゲイ向け飲食施設にポスターおよび調査サイトへのリンク QR コードを記したカードを配布しゲイ・バイセクシュアル男性を対象に調査参加者を募集した。CBO 活動に対する共感や受け入れが高いほど生涯検査受検経験および過去 1 年以内の検査受検経験が高かった。過去 6 か月間に友達や知り合いとあるいは彼氏や恋人と HIV/AIDS について話したことがあると答えた人はそれ以外の人に比べて検査受検経験が高かった。《調査 2》新宿二丁目地区で開催されている街のイベントにおいて調査サイトへのリンクを記したカードを配布して、ゲイ・バイセクシュアル男性を対象にインターネット質問票調査を行った。有効回答データ 190 件を分析対象とした。akta の活動に共感する、前向きで話しやすい雰囲気を感じる、新宿 2 丁目に溶け込んだ活動をしているとの項目で 3 年以内の HIV 検査受検と関連していた。CBO がコミュニティに根差して訴求力の高い HIV/AIDS 予防啓発活動をしていく上で、活動の対象であるコミュニティの人たちに共感される HIV/AIDS 予防啓発活動を行うことによって、検査受検行動及びコンドーム使用といった HIV/AIDS 予防行動を促進していく必要がある。

A. 研究目的

これまでのプログラム評価研究から、ゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした HIV/AIDS の予防啓発を担う Community-Based Organization (CBO) は新宿二丁目という地域を起点として啓発活動を行うにあたり、大きく 2 つのプロセスを重要視して予防啓発活動を実施していることが明らかになっている。

一つ目のプロセスは、新宿二丁目の文化や価値観、文脈を尊重しつつ顔と顔を合わせた活動を行うことでコミュニティの一員(仲間)

としての存在感を示し、コミュニティからの信頼と共感を得るプロセスである。

次のプロセスは、信頼のおける身近な仲間が、自分たちの街を盛り上げながら行っている HIV 予防啓発活動として受け入れてもらうことによって、CBO が出すメッセージは自分たちに対するメッセージだと感じてもらうことである。これら 2 つのプロセスがバランス良く達成されることによって、対象者に対して高い訴求力を持つ HIV の予防啓発メッセージを伝えることが可能になる。

本研究では、CBO が実施している HIV/AIDS 予防啓発活動のプログラムプロセス評価を行うことによって、予防啓発介入プログラムとしての適切なプログラム評価指標を策定すること、さらにそれらの指標を実際に測定することで、コミュニティへの HIV 予防啓発活動の進展度合いや啓発活動の有効性、改善点の検討といったプロセス評価を行うことを目的としている。

B. 研究方法

《調査 1》

【調査の実施】東京の CBO の介入地域のひとつである新宿二丁目の商業施設を利用するゲイ・バイセクシュアル男性を対象に、インターネット上の質問票による調査を行った。調査参加者のリクルートは、調査実施を告知するポスターの掲示とともに、調査サイトへのリンク QR コードを記したカードを配布し参加を呼びかけた。CBO がアウトリーチを行っている店舗だけではなく、これまでに CBO と関係性のなかった新規店舗に対して調査強力の依頼とリクルートを行った。参加者は各自の保有する携帯端末等からインターネット上の質問票サイトへアクセスし、回答した。質問票サイトのトップページにおいて、質問への回答をもって調査趣旨を理解し、参加することに同意したものとみなす旨、説明を記した。

【調査期間】平成 27 年 2 月、3 月、7 月および 10 月。2、3、7 月は新宿二丁目内の BAR へリクルート用カードを配布して調査参加者を募った。10 月はコミュニティセンターakta に来場した人に対してリクルート用カードを配布した。

【質問項目】年齢、新宿二丁目を訪れる頻度、HIV 感染予防行動、国内旅行と旅行先での性行動、CBO による HIV 予防啓発プログラムの認知とコンセプトへの共感 (5 項目)、新宿二丁目に対するコミュニティ感覚 (4 項目) に関して、選択形式で尋ねた。

コミュニティ感覚は Sense of Community index (McMillan & Chavis, 1986) の日本語版 (笹尾ら, 2003) の構成概念を参考に作成した。新宿二丁目にいると、安心感のようなものを感じる (メンバーシップ)、新宿二丁目に、誇りとか愛着のようなものを感じる (メンバーシップ)、新宿二丁目ではしか得られないものがある (統合とニーズの充足)、新宿二丁目のために何か私ができることがあれば参加や協力をしたい (情緒的結合の共有) の 4 項目について、そう思うからそう思わないまでの 4 件法でたずねた。

【分析方法】質問項目ごとに記述集計を行ない、HIV 予防行動との関連を検討した。

《調査 2》

【調査の実施】新宿二丁目の商業施設等を利用するゲイ・バイセクシュアル男性を対象に、インターネット上の質問票による調査を行った。調査参加者のリクルートは、調査実施を告知するポスターの掲示とともに、調査サイトへのリンク QR コードを記したカードを「東京レインボー祭り」会場にて配布した。参加者は各自の保有する携帯端末等からインターネット上の質問票サイトへアクセスし、調査に参加した。質問票サイトのトップページにおいて、質問への回答をもって調査趣旨を理解し、参加することに同意したものとみなす旨、説明を記した。謝礼はコミュニティセンターakta にて回答終了画面を確認の上、「東京レインボー祭り」開催期間中の 15 時から 18 時の間に 1,000 円分の QUO カードを謝礼として手渡した。

【調査期間】平成 28 年 8 月に開催された「東京レインボー祭り」のおおよそ 3 日前からポスター等を配布しイベント終了時刻の 18 時までの謝礼引き渡しとした。

【質問項目】年齢、居住地、利用施設、コミュニティセンターの認知、コミュニティペーパー等の認知、キャンペーンの認知、HIV 感染予防行動、CBO による HIV 予防啓発プロ

グラムの認知とコンセプトへの共感（5 項目）、新宿二丁目に対するコミュニティ感覚（4 項目）コミュニティ感覚について、それぞれ調査 1 と同様の質問を用いた。

【分析方法】質問項目ごとに記述集計を行った。年齢階級、生涯の HIV 検査受検経験、過去 1 年以内の HIV 検査受検経験、性感染症の罹患経験、一番最近のアナルセックス時のコンドーム使用行動とのクロス集計を行って、関連を検討した。

【倫理的配慮】本研究に於ける調査 1 および 2 は侵襲を伴わない連結不可能匿名化のデータを収集する疫学調査である。本研究調査 1 および調査 2 の研究計画については名古屋市立大学看護学部倫理委員会より承認を得て実施した（承認番号 14025-3）。

C. 研究結果

《調査 1》

【調査参加者の属性】昨年度の有効回答は 148 件に加えて、7 月の BAR 調査 85 件、来場者調査 95 件の 4 か所のリクルートサイトの合計 328 件を分析対象とした（表 1）。いずれのリクルートサイトの参加者も東京および関東の居住者が多数を占めていた。年齢は昨年度（H27 年 3 月）の調査では 30 歳以下が多いのに対して、H27 年度（7 月）調査は広く分布した。3 月調査と 7 月調査の介入店舗群の合計（n=201）における年齢の平均値は 31.1 歳（SD8.5 歳）、未介入店舗利用群（n=32）は 26.0 歳（SD5.6 歳）、コミュニティセンター来場者調査群では 33.4 歳（SD7.4 歳）であった。新宿二丁目への来所頻度が週 1 回以上である人の割合は、BAR 調査介入店舗群でおよそ 60%であるのに対して未介入店舗群で 47%、コミュニティセンター来場者群では 40%であった。

【過去 6 ヶ月間のゲイ向け施設やサイトの利用状況】バーを起点としたリクルートであったため、バー利用が最多である。スマー

トフォンで利用するゲイ向けアプリを約 7 割が利用していたのに対して、従来型のパソコンからアクセスするタイプの出会い系サイトや SNS の利用割合はおおむね 3 割以下であった（表 2）。

【HIV/AIDS 予防行動】生涯 HIV 検査受検経験は全体で 77%であり、これまでの類似の調査と同等の結果であった（表 3）。未介入店舗群が 66%と比較的少ないのは年齢が若いことによるものと思われる。過去 1 年間の HIV 検査受検経験は全体で 58%であり、新宿二丁目を中心としたサンプリングによる調査と同等の結果であった（金子典代、他：MSM およびゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較（1）の報告参照）。一番最近のセックスでのコンドーム使用意図は 52%から 71%とサンプリングサイトによりばらつきがあるが半数以上の人がコンドーム使用の意図を持っており、ほぼ同じ割合の人がコンドームを使用していた。

【CBO 活動の受け入れ】「そう思う」と「ややそう思う」の回答を合計すると、「akta の活動は、特別な人がやっているのではなく自分の仲間がやっている活動だと感じる」（61.3%）、「akta のメッセージは自分へのメッセージだと感じる」（57.6%）、「akta のメッセージは HIV や性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる」（62.6%）、「新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしている」（66.8%）、「akta の活動に共感する」（68.6%）と 6 割程度の人が、akta の活動コンセプトに共感的な認知を持っており、コミュニティセンターakta の活動とそのやり方を、共感を持って受け入れていた（表 4）。

【新宿二丁目に対するコミュニティ感覚】新宿二丁目というコミュニティに関する認知を 4 項目たずねた。「そう思う」と「ややそう思う」を各質問の該当者として合計した割合を集計した。「新宿二丁目にいると安心感のようなものを感じる（67.4%）」、「新宿二丁目に誇りや愛着のようなものを感じる（59.5%）」、

「新宿二丁目でしか得られないものがあると思う(80.5%)」、「新宿二丁目のために何かできることがあれば参加したい(64.9%)」のようにいずれの項目も6割を超える人が新宿二丁目というコミュニティとの結びつきに関する認知を持っており、コミュニティを基盤とした介入の有効性の前提となる「コミュニティ感覚」と呼べるものが存在することが確認された。また、「HIVや性感染症の予防活動に、何らかの形で参加や協力をしたいと思う(61.3%)」、「新宿二丁目にHIVや性感染症の予防活動は必要だと思う(86.0%)」と、新宿二丁目というコミュニティにおいてHIVに関する予防の必要性を認知しており、それに貢献したいという思いを持っていた。一方で、新宿二丁目にはタブー感(ためらい)がある(34.8%)と、3割を超える人がHIV/AIDSについて話することにタブー感を持っていたタブー感を持っていた。

【コミュニティ活動への共感およびコミュニティ感覚と、検査受検行動との関連】(表5) CB0 活動への共感に関する項目では、CB0 活動の共感や受け入れが高いほど生涯検査受検経験および過去1年以内の検査受検経験ともに高いという有意な関連がみられた。これに対してコミュニティ感覚の項目ではほとんど関連が見られなかった。また、過去6か月間に友達や知り合いと、あるいは彼氏や恋人とHIV/AIDSについて話したことがあると答えた人はそれ以外の人に比べて検査受検経験が高かった。さらに、「友達や知り合いに感染している人はいると思うか」に対して、いると思うまたはいると答えた人では生涯受検経験、過去1年の受検経験ともに高かった。

【コミュニティ活動への共感およびコミュニティ感覚と、コンドーム使用との関連】(表6) 検査受検行動と比べて、知人や恋人とのHIV/AIDSについての会話経験は、最近のコンドーム使用行動及び使用意図には影響が見られなかった。HIV/AIDSの話をするにタブー感(ためらい)があるにそう思うと答え

た人ではコンドーム使用意図および使用割合が高かった。

【29歳以下と30歳以上の比較】(表7, 8) 新宿二丁目への来所頻度に有意差はなかった。ゲイショップ、エロ系SNS、スマートフォンのゲイ向けアプリの利用割合は29歳以下において有意に高く、性的なアクティブ度合いと関連して利用するツールが多いことが考えられる。HIV検査受検場所として保健所で受検したことがある人の割合が、若い人において有意に多かった(表7)。webサイトの充実や検索などからの誘導により、選択肢として一番初めに選択される検査サイトは保健所であることが考えられる。CB0活動への共感、愛着や心理的安全性などのコミュニティ感覚、話をするにタブー感、HIV/AIDS予防啓発活動の必要性の認知については、有意な年齢差は観察されなかった。

《調査2》

【調査参加者の属性】調査サイトへのアクセス数は248であったが有効回答データ190件を分析対象とした。

東京および近県の居住者が92%と多数を占めていた。年齢は24歳以下16.3%、25-29歳25.2%、30-39歳30.0%、40歳以上28.4%であった(表9)。

【過去6ヵ月間のゲイ向け施設やサイトの利用状況】コミュニティの街頭イベントでリクルートを行ったこともあり、バーの利用者が81.6%と最多であった。近年調査や啓発等で活用されることの多いスマートフォンのゲイ向けアプリは61.1%の人が使用しており、年齢階級による利用状況の傾向はみられなかった。有料のハッテン場の利用は40.5%であり、年齢との関係は見られなかった(表9)。

【CB0による予防活動の認知】コミュニティセンターの認知は、コミュニティセンターを知っていて行ったことがある54.7%、知っているがまだ行ったことはなく行ってみたいと思っている14.7%であった。資料の認

知割合はヤローページ 50.1%、akta monthly paper が 55.3%と約半数の人が今後も見かけたら読むとの好意的な認知をしている。(表 10)

【CB0 による予防啓発活動に対する共感、年齢階級別】特別な人がやっているのではなく自分の仲間がやっている活動だと感じる、自分へのメッセージだと感じる、活動に共感する、の 3 項目は年齢が高くなるほどそう思う/まあそう思うと回答した人の割合が高くなっている (表 11)。

【コミュニティ感覚、年齢階級別】「二丁目でしか得られないものがあると思う」は 24 歳以下の層で比較的高く、年齢が上がると低下している。HIV について話すことにタブー感(ためらい)を感じるは 24 歳以下で 48.4%と高く、その他の世代では約 3 割ほどであった。(表 12)

【HIV 検査の受検経験、年齢階級別】HIV 検査の生涯受検割合は若年層で低い傾向にある。若年層では一番最近に検査を受けた時期が 1 年以内である人が 6 割であるのに対して、年齢が高くなるにつれ、その割合が下がってくる。

【性感染症の既往】性感染症では毛じらみが 25.8%と最も多いが、梅毒 12.6%、B 型肝炎 11.6%といった感染症の罹患者も多い (表 13)。

【検査受検とコミュニティ活動の指標】コミュニティ活動への共感に関する 5 項目は「雰囲気に関わらず活動をしている」を除き、有意に生涯の HIV 検査受検経験があることと関連しており、検査受検群では CB0 による予防啓発活動への共感が高い人の割合が高かった。コミュニティ感覚の項目と生涯の検査受検には関連が見られなかった。akta の活動に共感する、前向きで話しやすい雰囲気を感じる、新宿 2 丁目に溶け込んだ活動をしているとの項目で 3 年以内の HIV 検査受検と関連していた。(表 14)

【コンドーム使用行動とコミュニティ活動

の指標】一番最近のアナルセックスでのコンドーム使用は全体の 60.5%であり CB0 活動への共感とは有意な関連が見られなかったが、HIV や性感染症の予防活動に自分も何らかの形で参加や協力をしたいと思うとの項目で有意差が見られた。(表 15)

D. 考察

《調査 1》

HIV 陽性の人が身近にいると思っている身近感検査受検行動を上げるが、コンドーム使用行動や意図には影響が見られなかった。また、HIV/AIDS について話をすることタブー感(ためらい)を感じている人は、コンドーム使用行動と関連するが、検査受検行動には影響が見られなかった。検査受検行動の促進とコンドーム使用行動の促進は異なる要因の影響を受けている。HIV/AIDS 予防行動とひとまとめにはできないことから、検査受検のための予防啓発と、コンドーム使用などの Safer Sex による予防啓発のそれぞれについて、明確な啓発メッセージを発信していく必要があるものと考えます。

《調査 2》

コミュニティセンターの認知は、コミュニティセンターを知っていて行ったことがある 54.7%、知っているがまだ行ったことはなく行ってみたいと思っている 14.7%であったのに対して、名前を知っているが行ってみようと思わないあるいは名前は聞いたこと程度で何かよく知らないが合わせて 18.4%であった。知っているか否かを問う単純な認知割合では、CB0 が運営するコミュニティセンターとしての認知のされ方に乖離があることがわかる。コミュニティペーパーにおいても同様で、ヤローページを知っている人は 74.2%であるが、うち 24.7%は読んだことはあるが今後読もうとは思わないまたは見かけたことはあるが読んだことがないであった。akta monthly paper も 75.8%が見たことがあるが、20.6%が読んだことはあるが今後読もうとは

思わないまたは見かけたことはあるが読んでいない人であった。介入名称の認知の有無だけでコミュニティにおける予防啓発活動の評価指標とすることは大きな誤差を生じることが考えられる。また、啓発に曝露されている集団の中にもそのメッセージや手法がフィットする人とそうではない人がいることが明らかになった。コミュニティの予防啓発では一つのやり方だけではなく、フォーマティブリサーチを行いつつ、様々な対象層へ向けた情報コミュニケーションが重要であることが示唆される。

生涯のHIV検査受検経験は全体で74.7%であり、これまでの類似の調査と同等の結果であった。過去1年間のHIV検査受検経験は全体で57%であり、新宿二丁目を中心としたサンプリングによる調査と同等の結果であった。

CB0による予防啓発活動に対する共感の3項目は年齢が高くなるほどそう思う/まあそう思うと回答した人の割合が高くなっている。若年層に対する共感や信頼を獲得するとともに、若年層に向けたコミュニケーション手段の検討が必要であることが示唆される。ただし、若年層は相対的にCB0介入への曝露期間が短いことによる影響も考えられる。この場合は継続的にコミュニティに来てもらうためのアプローチ方法を検討することが必要になる。

生涯のHIV検査受検経験は全体で74.7%であった。生涯経験なので年齢が若いと低い傾向にあるが、それでも54.8%は受検経験のある対象であった。ただし、近年は年間数回の定期的な検査が推奨されているため、過去の検査履歴だけではなく、最近の性行為等で感染の可能性がある人に対して、検査ができる機会を紹介していくことも重要となる。

コミュニティ活動に対する共感は予防行動、特に検査受検行動に関連していたが、コミュニティ感覚は予防行動にあまり関連が見られなかった。今後はこの理由に関する検証と評価指標の再検討および活動プロセスの見直しが必要になると考える。

E. 結語

CB0が実施しているHIV/AIDS予防啓発活動を、介入プログラムとして記述することによりCB0への共感や、コミュニティ感覚といったプログラム評価指標を策定し、プロセス評価を行った。CB0がコミュニティに根差して訴求力の高いHIV/AIDS予防啓発活動をしていく上で、活動の対象であるコミュニティの人たちがCB0に対して共感を持っていることが重要であることが確認された。すなわち、CB0をコミュニティの仲間とみなし、コミュニティの雰囲気や文化に則した活動をしていると認知し、その活動に共感するとともに支持する感情を持ち、発信されるメッセージは自分に向けたメッセージだと感じていることが、検査受検行動に関連していた。コミュニティセンターの効果評価の間接的なプロセス評価指標として対象者が持っているコミュニティ感覚や活動への共感を測定することが有用であった。

F. 発表論文等

論文発表

- 1) 市川誠一、塩野徳史、金子典代、本間隆之、岩橋恒太. MSM (Men who have sex with men) におけるHIV感染予防とコミュニティセンターの役割. 化学療法の領域 32(5): 1029-1038, 2016

学会発表 (国内)

- 1) 木南拓也、岩橋恒太、荒木順子、佐久間久弘、大島岳、金子典代、本間隆之、市川誠一. コミュニティセンターを起点とするアウトリーチ活動の効果評価—アウトリーチ介入実施店舗と未実施店舗の比較—. 日本エイズ学会、2015年、東京.
- 2) 本間隆之、岩橋恒太、木南拓也、荒木順子、佐久間久弘、大島岳、金子典代、市川誠一. コミュニティを基盤とした組織 (CB0) の受け入れとコミュニティ感覚—コミュニティ

センターakta を起点とするアウトリーチ
の評価―. 日本エイズ学会、2015 年、東京.

引用文献

笹尾敏明, 小山梓, 池田満. 次世代型ファカルティ・ディベロップメント (FD)・プログラムに向けて: コミュニティ心理学的視座からの検討 国際基督教大学学報 1-A, 教育研究, 45:55-71, 2003.

表1.調査参加者属性、リクルートサイト別

	介入店舗群 H27年3月調査 n=116		未介入店舗群 H27年3月調査 n=32		介入店舗群 (7月調査) n=85		コミュニティセ ンター来場者 (10月調査) n=95	
	n	%	n	%	n	%	n	%
居住地								
北海道東北	1	(0.9%)	1	(3.1%)	2	(2.4%)	0	(0.0%)
東京	81	(69.8%)	17	(53.1%)	61	(71.8%)	65	(68.4%)
関東甲信越 (東京を除く)	31	(26.7%)	11	(34.4%)	19	(22.4%)	21	(22.1%)
北陸	0	(0.0%)	1	(3.1%)	0	(0.0%)	2	(2.1%)
東海	2	(1.7%)	1	(3.1%)	1	(1.2%)	2	(2.1%)
近畿	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	5	(5.3%)
中四国	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
九州	1	(0.9%)	1	(3.1%)	2	(2.4%)	0	(0.0%)
年齢(5歳階級)								
24歳以下	42	(36.2%)	16	(50.0%)	12	(14.1%)	7	(7.4%)
25-29歳	30	(25.9%)	8	(25.0%)	17	(20.0%)	28	(29.5%)
30-34歳	22	(19.0%)	4	(12.5%)	20	(23.5%)	23	(24.2%)
35-39歳	7	(6.0%)	3	(9.4%)	13	(15.3%)	14	(14.7%)
40歳以上	15	(12.9%)	1	(3.1%)	23	(27.1%)	23	(24.2%)
最近3か月間の新宿二丁目来所頻度								
月1回以下	28	(24.1%)	11	(34.4%)	18	(21.2%)	34	(35.8%)
2, 3週に1回程度	18	(15.5%)	6	(18.8%)	15	(17.6%)	23	(24.2%)
週に1回程度	38	(32.8%)	8	(25.0%)	23	(27.1%)	24	(25.3%)
週に2回以上	32	(27.6%)	7	(21.9%)	29	(34.1%)	14	(14.7%)

表2.過去6ヶ月間のゲイ向け施設やサイトの利用状況、リクルートサイト別

	介入店舗群 H27年3月調査 n=116		未介入店舗群 H27年3月調査 n=32		介入店舗群 (7月調査) n=85		コミュニティセ ンター来場者 (10月調査) n=95	
	n	%	n	%	n	%	n	%
過去6か月以内に利用した施設								
バー(男性限定)	106	(91.4%)	23	(71.9%)	76	(89.4%)	72	(75.8%)
クラブ(男性限定)	49	(42.2%)	8	(25.0%)	30	(35.3%)	40	(42.1%)
ゲイショップ	50	(43.1%)	10	(31.3%)	31	(36.5%)	41	(43.2%)
出会い系サイト	31	(26.7%)	6	(18.8%)	22	(25.9%)	26	(27.4%)
エロ系SNS(HuGs や 男子寮など)	18	(15.5%)	6	(18.8%)	6	(7.1%)	6	(6.3%)
ゲイ向けアプリ (Grindr, Jackd, 9mon)	82	(70.7%)	24	(75.0%)	57	(67.1%)	66	(69.5%)
FacebookやTwitter 等のSNS	75	(64.7%)	17	(53.1%)	40	(47.1%)	60	(63.2%)
ゲイ向けサークル	15	(12.9%)	1	(3.1%)	9	(10.6%)	20	(21.1%)
ゲイ向け合コン	12	(10.3%)	2	(6.3%)	4	(4.7%)	8	(8.4%)
ゲイの乱パ	9	(7.8%)	1	(3.1%)	2	(2.4%)	2	(2.1%)
有料のハッテン場	38	(32.8%)	8	(25.0%)	18	(21.2%)	35	(36.8%)
ゲイが集まる銭湯や 施設	25	(21.6%)	7	(21.9%)	19	(22.4%)	25	(26.3%)
野外のハッテン場	13	(11.2%)	0	(0.0%)	6	(7.1%)	11	(11.6%)

表3.HIV/AIDS予防行動、リクルートサイト別

	介入店舗群 H27年3月調査 n=116		未介入店舗群 H27年3月調査 n=32		介入店舗群 (7月調査) n=85		コミュニティセン ター来場者(10 月調査) n=95		合計 n=328	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
生涯検査受検経験										
なし	25	(21.6%)	11	(34.4%)	20	(23.5%)	18	(18.9%)	74	(22.6%)
あり	91	(78.4%)	21	(65.6%)	65	(76.5%)	77	(81.1%)	254	(77.4%)
過去1年以内の受検経験(陽性者除く)										
なし	45	(40.9%)	14	(48.3%)	28	(35.0%)	40	(47.6%)	127	(41.9%)
あり	65	(59.1%)	15	(51.7%)	52	(65.0%)	44	(52.4%)	176	(58.1%)
一番最近のセックスでのコンドーム使用										
不使用/覚えていない	43	(38.4%)	14	(45.2%)	17	(22.1%)	27	(30.0%)	101	(32.6%)
使った	69	(61.6%)	17	(54.8%)	60	(77.9%)	63	(70.0%)	209	(67.4%)
一番最近のセックスでのコンドーム使用意図										
それ以外	46	(41.1%)	15	(48.4%)	22	(28.6%)	29	(32.2%)	112	(36.1%)
使いたいと思っていた	66	(58.9%)	16	(51.6%)	55	(71.4%)	61	(67.8%)	198	(63.9%)

表4.CBO活動への共感とコミュニティ感覚、リクルートサイト別

	介入店舗群 H27年3月調査 n=116		未介入店舗群 H27年3月調査 n=32		介入店舗群 (7月調査) n=85		コミュニティセ ンター来場者 (10月調査) n=95		合計 n=328	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
[共感1]aktaの活動は、特別な人がやっているのではなく、自分の仲間がやっている活動だと感じる。										
それ以外	51	(44.0%)	17	(53.1%)	23	(27.1%)	36	(37.9%)	127	(38.7%)
そう思う	65	(56.0%)	15	(46.9%)	62	(72.9%)	59	(62.1%)	201	(61.3%)
[共感2]aktaのメッセージは、自分への(私への)メッセージだと感じる。										
それ以外	58	(50.0%)	19	(59.4%)	30	(35.3%)	32	(33.7%)	139	(42.4%)
そう思う	58	(50.0%)	13	(40.6%)	55	(64.7%)	63	(66.3%)	189	(57.6%)
[共感3]aktaの活動に共感する。										
それ以外	42	(36.2%)	16	(50.0%)	24	(28.2%)	21	(22.1%)	103	(31.4%)
そう思う	74	(63.8%)	16	(50.0%)	61	(71.8%)	74	(77.9%)	225	(68.6%)
[共感4]aktaからのメッセージは、HIVや性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる。										
それ以外	51	(44.0%)	18	(56.3%)	29	(34.1%)	26	(27.4%)	124	(37.8%)
そう思う	65	(56.0%)	14	(43.8%)	56	(65.9%)	69	(72.6%)	204	(62.2%)
[共感5]aktaは、新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしていると思う。										
それ以外	40	(34.5%)	19	(59.4%)	23	(27.1%)	27	(28.4%)	109	(33.2%)
そう思う	76	(65.5%)	13	(40.6%)	62	(72.9%)	68	(71.6%)	219	(66.8%)
[コミュニティ感覚1]新宿二丁目にいと、安心感のようなものを感じる。										
それ以外	32	(27.6%)	15	(46.9%)	24	(28.2%)	36	(37.9%)	107	(32.6%)
そう思う	84	(72.4%)	17	(53.1%)	61	(71.8%)	59	(62.1%)	221	(67.4%)
[コミュニティ感覚2]新宿二丁目に、誇りとか愛着のようなものを感じる。										
それ以外	39	(33.6%)	18	(56.3%)	30	(35.3%)	46	(48.4%)	133	(40.5%)
そう思う	77	(66.4%)	14	(43.8%)	55	(64.7%)	49	(51.6%)	195	(59.5%)
[コミュニティ感覚3]新宿二丁目ではしか得られないものがあると思う。										
それ以外	16	(13.8%)	15	(46.9%)	13	(15.3%)	20	(21.1%)	64	(19.5%)
そう思う	100	(86.2%)	17	(53.1%)	72	(84.7%)	75	(78.9%)	264	(80.5%)
[コミュニティ感覚4]新宿二丁目のために何か私ができることがあれば参加や協力をしたいと思う。										
それ以外	39	(33.6%)	15	(46.9%)	27	(31.8%)	34	(35.8%)	115	(35.1%)
そう思う	77	(66.4%)	17	(53.1%)	58	(68.2%)	61	(64.2%)	213	(64.9%)
新宿二丁目のHIVや性感染症の予防活動に、自分も何らかの形で参加や協力をしたいと思う。										
それ以外	49	(42.2%)	17	(53.1%)	31	(36.5%)	30	(31.6%)	127	(38.7%)
そう思う	67	(57.8%)	15	(46.9%)	54	(63.5%)	65	(68.4%)	201	(61.3%)
新宿二丁目では、HIVについて話をするに、タブー感(ためらい)がある。										
それ以外	77	(66.4%)	19	(59.4%)	51	(60.0%)	67	(70.5%)	214	(65.2%)
そう思う	39	(33.6%)	13	(40.6%)	34	(40.0%)	28	(29.5%)	114	(34.8%)
新宿二丁目にはHIVや性感染症の予防活動は必要だと思う。										
それ以外	15	(12.9%)	6	(18.8%)	9	(10.6%)	16	(16.8%)	46	(14.0%)
そう思う	101	(87.1%)	26	(81.3%)	76	(89.4%)	79	(83.2%)	282	(86.0%)

表5.コミュニティ活動への共感およびコミュニティ感覚、HIV検査受検経験別

	生涯検査受検経験				過去1年以内の受検経験(陽性者除く)			
	なし		あり		なし		検査あり	
	(n= 74)		(n= 254)		(n= 127)		(n= 176)	
	n	%	n	%	n	%	n	%
過去6ヵ月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがある。								
それ以外	37	(50.0%)	69	(27.2%)	53	(41.7%)	47	(26.7%)
ある	37	(50.0%)	185	(72.8%)	74	(58.3%)	129	(73.3%)
過去6ヵ月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがある。								
それ以外	57	(77.0%)	159	(62.6%)	92	(72.4%)	107	(60.8%)
ある	17	(23.0%)	95	(37.4%)	35	(27.6%)	69	(39.2%)
あなたの友達や知り合いにHIV(エイズ)に感染している人はいると思う。								
それ以外	51	(68.9%)	90	(35.4%)	71	(55.9%)	63	(35.8%)
いる/いると思う	23	(31.1%)	164	(64.6%)	56	(44.1%)	113	(64.2%)
aktaの活動は、特別な人がやっているのではなく、自分の仲間がやっている活動だと感じる。								
それ以外	37	(50.0%)	90	(35.4%)	53	(41.7%)	58	(33.0%)
そう思う	37	(50.0%)	164	(64.6%)	74	(58.3%)	118	(67.0%)
aktaのメッセージは、自分への(私への)メッセージだと感じる。								
それ以外	41	(55.4%)	98	(38.6%)	58	(45.7%)	60	(34.1%)
そう思う	33	(44.6%)	156	(61.4%)	69	(54.3%)	116	(65.9%)
aktaの活動に共感する。								
それ以外	33	(44.6%)	70	(27.6%)	43	(33.9%)	41	(23.3%)
そう思う	41	(55.4%)	184	(72.4%)	84	(66.1%)	135	(76.7%)
aktaからのメッセージは、HIVや性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる。								
それ以外	35	(47.3%)	89	(35.0%)	53	(41.7%)	52	(29.5%)
そう思う	39	(52.7%)	165	(65.0%)	74	(58.3%)	124	(70.5%)
aktaは、新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしていると思う。								
それ以外	32	(43.2%)	77	(30.3%)	44	(34.6%)	46	(26.1%)
そう思う	42	(56.8%)	177	(69.7%)	83	(65.4%)	130	(73.9%)
新宿二丁目にいると、安心感のようなものを感じる。								
それ以外	23	(31.1%)	84	(33.1%)	34	(26.8%)	58	(33.0%)
そう思う	51	(68.9%)	170	(66.9%)	93	(73.2%)	118	(67.0%)
新宿二丁目に、誇りとか愛着のようなものを感じる。								
それ以外	28	(37.8%)	105	(41.3%)	44	(34.6%)	76	(43.2%)
そう思う	46	(62.2%)	149	(58.7%)	83	(65.4%)	100	(56.8%)
新宿二目でしか得られないものがあると思う。								
それ以外	14	(18.9%)	50	(19.7%)	18	(14.2%)	31	(17.6%)
そう思う	60	(81.1%)	204	(80.3%)	109	(85.8%)	145	(82.4%)
新宿二丁目のために何か私ができることがあれば参加や協力をしたいと思う。								
それ以外	25	(33.8%)	90	(35.4%)	43	(33.9%)	55	(31.3%)
そう思う	49	(66.2%)	164	(64.6%)	84	(66.1%)	121	(68.8%)
新宿二丁目のHIVや性感染症の予防活動に、自分も何らかの形で参加や協力をしたいと思う。								
それ以外	32	(43.2%)	95	(37.4%)	52	(40.9%)	57	(32.4%)
そう思う	42	(56.8%)	159	(62.6%)	75	(59.1%)	119	(67.6%)
新宿二丁目では、HIVについて話をするのに、タブー感(ためらい)がある。								
それ以外	51	(68.9%)	163	(64.2%)	88	(69.3%)	109	(61.9%)
そう思う	23	(31.1%)	91	(35.8%)	39	(30.7%)	67	(38.1%)
新宿二丁目にHIVや性感染症の予防活動は必要だと思う。								
それ以外	12	(16.2%)	34	(13.4%)	16	(12.6%)	17	(9.7%)
そう思う	62	(83.8%)	220	(86.6%)	111	(87.4%)	159	(90.3%)

表6.コミュニティ活動への共感およびコミュニティ感覚、コンドーム使用意図および行動別

	一番最近のセックスでのコンドーム使用意図				一番最近のセックスでのコンドーム使用				p値	
	それ以外		使いたいと思っていた		不使用/覚えてない		使った			
	(n= 112)		(n= 198)		(n= 101)		(n= 209)			
	n	%	n	%		n	%	n	%	
過去6ヵ月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがある。										
それ以外	41	(36.6%)	55	(27.8%)	.106	33	(32.7%)	63	(30.1%)	.652
ある	71	(63.4%)	143	(72.2%)		68	(67.3%)	146	(69.9%)	
過去6ヵ月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがある。										
それ以外	69	(61.6%)	131	(66.2%)	.421	64	(63.4%)	136	(65.1%)	.769
ある	43	(38.4%)	67	(33.8%)		37	(36.6%)	73	(34.9%)	
あなたの友達や知り合いにHIV(エイズ)に感染している人はいると思う。										
それ以外	52	(46.4%)	75	(37.9%)	.141	45	(44.6%)	82	(39.2%)	.372
いる/いると	60	(53.6%)	123	(62.1%)		56	(55.4%)	127	(60.8%)	
aktaの活動は、特別な人がやっているのではなく、自分の仲間がやっている活動だと感じる。										
それ以外	56	(50.0%)	63	(31.8%)	.002*	49	(48.5%)	70	(33.5%)	.023*
そう思う	56	(50.0%)	135	(68.2%)		52	(51.5%)	139	(66.5%)	
aktaのメッセージは、自分への(私への)メッセージだと感じる。										
それ以外	62	(55.4%)	67	(33.8%)	.002*	52	(51.5%)	77	(36.8%)	.011*
そう思う	50	(44.6%)	131	(66.2%)		49	(48.5%)	132	(63.2%)	
aktaの活動に共感する。										
それ以外	45	(40.2%)	50	(25.3%)	.000*	37	(36.6%)	58	(27.8%)	.014*
そう思う	67	(59.8%)	148	(74.7%)		64	(63.4%)	151	(72.2%)	
aktaからのメッセージは、HIVや性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる。										
それ以外	57	(50.9%)	60	(30.3%)	.006*	50	(49.5%)	67	(32.1%)	.112
そう思う	55	(49.1%)	138	(69.7%)		51	(50.5%)	142	(67.9%)	
aktaは、新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしていると思う。										
それ以外	49	(43.8%)	52	(26.3%)	.000*	40	(39.6%)	61	(29.2%)	.003*
そう思う	63	(56.3%)	146	(73.7%)		61	(60.4%)	148	(70.8%)	
新宿二丁目にいと、安心感のようなものを感じる。										
それ以外	42	(37.5%)	62	(31.3%)	.002*	42	(41.6%)	62	(29.7%)	.067
そう思う	70	(62.5%)	136	(68.7%)		59	(58.4%)	147	(70.3%)	
新宿二丁目に、誇りとか愛着のようなものを感じる。										
それ以外	44	(39.3%)	81	(40.9%)	.268	46	(45.5%)	79	(37.8%)	.037*
そう思う	68	(60.7%)	117	(59.1%)		55	(54.5%)	130	(62.2%)	
新宿二目でしか得られないものがあると思う。										
それ以外	24	(21.4%)	37	(18.7%)	.780	27	(26.7%)	34	(16.3%)	.193
そう思う	88	(78.6%)	161	(81.3%)		74	(73.3%)	175	(83.7%)	
新宿二丁目のために何か私ができることがあれば参加や協力をしたいと思う。										
それ以外	46	(41.1%)	65	(32.8%)	.560	45	(44.6%)	66	(31.6%)	.030*
そう思う	66	(58.9%)	133	(67.2%)		56	(55.4%)	143	(68.4%)	
新宿二丁目のHIVや性感染症の予防活動に、自分も何らかの形で参加や協力をしたいと思う。										
それ以外	54	(48.2%)	63	(31.8%)	.146	48	(47.5%)	69	(33.0%)	.026*
そう思う	58	(51.8%)	135	(68.2%)		53	(52.5%)	140	(67.0%)	
新宿二丁目では、HIVについて話をするに、タブー感(ためらい)がある。										
それ以外	77	(68.8%)	124	(62.6%)	.004*	72	(71.3%)	129	(61.7%)	.014*
そう思う	35	(31.3%)	74	(37.4%)		29	(28.7%)	80	(38.3%)	
新宿二丁目にHIVや性感染症の予防活動は必要だと思う。										
それ以外	18	(16.1%)	23	(11.6%)	.278	18	(17.8%)	23	(11.0%)	.098
そう思う	94	(83.9%)	175	(88.4%)		83	(82.2%)	186	(89.0%)	

表7.主な行動と予防行動、年齢(29歳以下と30歳以上)別

	29歳以下 n=160		30歳以上 n=168		合計 n=328		p値
	n	%	n	%	度数	列の N %	
あなたはここ2,3か月の間にどの程度新宿二丁目を訪れましたか。							
月1回以下	46	(28.8%)	45	(26.8%)	91	(27.7%)	.774
2,3週間に1回程度	32	(20.0%)	30	(17.9%)	62	(18.9%)	
1週間に1回程度	46	(28.8%)	47	(28.0%)	93	(28.4%)	
1週間に2回以上	36	(22.5%)	46	(27.4%)	82	(25.0%)	
過去6か月以内に利用した施設							
バー(男性限定)	138	(86.3%)	139	(82.7%)	277	(84.5%)	.380
クラブ(男性限定)	65	(40.6%)	62	(36.9%)	127	(38.7%)	.489
ゲイショップ	74	(46.3%)	58	(34.5%)	132	(40.2%)	.030*
出会い系サイト	41	(25.6%)	44	(26.2%)	85	(25.9%)	.907
エロ系SNS(HuGs や男子寮など)	25	(15.6%)	11	(6.5%)	36	(11.0%)	.009*
ゲイ向けアプリ(Grindr,Jackd,9mon)	120	(75.0%)	109	(64.9%)	229	(69.8%)	.046*
FacebookやTwitter等のSNS	93	(58.1%)	99	(58.9%)	192	(58.5%)	.883
ゲイ向けサークル	18	(11.3%)	27	(16.1%)	45	(13.7%)	.205
ゲイ向け合コン	14	(8.8%)	12	(7.1%)	26	(7.9%)	.590
ゲイの乱パ	8	(5.0%)	6	(3.6%)	14	(4.3%)	.522
有料のハッテン場	51	(31.9%)	48	(28.6%)	99	(30.2%)	.515
ゲイが集まる銭湯や施設	43	(26.9%)	33	(19.6%)	76	(23.2%)	.121
野外のハッテン場	15	(9.4%)	15	(8.9%)	30	(9.1%)	.889
生涯検査受検経験							
なし	45	(28.1%)	29	(17.3%)	74	(22.6%)	.019*
あり	115	(71.9%)	139	(82.7%)	254	(77.4%)	
過去1年以内の受検経験(陽性者除く)							
	n=153		n=150		n=303		
なし	60	(39.2%)	67	(44.7%)	127	(41.9%)	.336
あり	93	(60.8%)	83	(55.3%)	176	(58.1%)	
過去1年に受検した場所							
	n=93		n=83		n=176		
南新宿検査相談所	21	(22.3%)	17	(20.0%)	38	(21.2%)	.395
保健所	49	(52.1%)	35	(41.2%)	84	(46.9%)	.042*
臨時検査	13	(13.8%)	7	(8.2%)	20	(11.2%)	.134
病院や診療所	24	(25.5%)	38	(44.7%)	62	(34.6%)	.078
郵送検査	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(0.6%)	
その他	3	(3.2%)	6	(7.1%)	9	(5.0%)	
一番最近のセックスでのコンドーム使用							
	n=148		n=162		n=310		
不使用/覚えていない	51	(34.5%)	50	(30.9%)	101	(32.6%)	.500
使った	97	(65.5%)	112	(69.1%)	209	(67.4%)	
一番最近のセックスでのコンドーム使用意図(アナルセックスありの人のみ)							
	n=148		n=162		n=310		
それ以外	55	(37.2%)	57	(35.2%)	112	(36.1%)	.717
使いたいと思っていた	93	(62.8%)	105	(64.8%)	198	(63.9%)	

表8.コミュニティ活動への共感及びコミュニティ感覚、年齢(29歳以下と30歳以上)別

	29歳以下 n=160		30歳以上 n=168		合計 n=328		p値
	n	%	n	%	度数	列の N %	
[共感1]aktaの活動は、特別な人がやっているのではなく、自分の仲間がやっている活動だと感じる。							
それ以外	63	(39.4%)	64	(38.1%)	127	(38.7%)	.812
そう思う	97	(60.6%)	104	(61.9%)	201	(61.3%)	
[共感2]aktaのメッセージは、自分への(私への)メッセージだと感じる。							
それ以外	74	(46.3%)	65	(38.7%)	139	(42.4%)	.166
そう思う	86	(53.8%)	103	(61.3%)	189	(57.6%)	
[共感3]aktaの活動に共感する。							
それ以外	53	(33.1%)	50	(29.8%)	103	(31.4%)	.512
そう思う	107	(66.9%)	118	(70.2%)	225	(68.6%)	
[共感4]aktaからのメッセージは、HIVや性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる。							
それ以外	64	(40.0%)	60	(35.7%)	124	(37.8%)	.424
そう思う	96	(60.0%)	108	(64.3%)	204	(62.2%)	
[共感5]aktaは、新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしていると思う。							
それ以外	53	(33.1%)	56	(33.3%)	109	(33.2%)	.968
そう思う	107	(66.9%)	112	(66.7%)	219	(66.8%)	
[コミュニティ感覚1]新宿二丁目にいると、安心感のようなものを感じる。							
それ以外	54	(33.8%)	53	(31.5%)	107	(32.6%)	.671
そう思う	106	(66.3%)	115	(68.5%)	221	(67.4%)	
[コミュニティ感覚2]新宿二丁目に、誇りとか愛着のようなものを感じる。							
それ以外	66	(41.3%)	67	(39.9%)	133	(40.5%)	.801
そう思う	94	(58.8%)	101	(60.1%)	195	(59.5%)	
[コミュニティ感覚3]新宿二目でしか得られないものがあると思う。							
それ以外	32	(20.0%)	32	(19.0%)	64	(19.5%)	.828
そう思う	128	(80.0%)	136	(81.0%)	264	(80.5%)	
[コミュニティ感覚4]新宿二丁目のために何か私ができることがあれば参加や協力をしたいと思う。							
それ以外	60	(37.5%)	55	(32.7%)	115	(35.1%)	.366
そう思う	100	(62.5%)	113	(67.3%)	213	(64.9%)	
新宿二丁目のHIVや性感染症の予防活動に、自分も何らかの形で参加や協力をしたいと思う。							
それ以外	62	(38.8%)	65	(38.7%)	127	(38.7%)	.991
そう思う	98	(61.3%)	103	(61.3%)	201	(61.3%)	
新宿二丁目では、HIVについて話をするに、タブー感(ためらい)がある。							
それ以外	101	(63.1%)	113	(67.3%)	214	(65.2%)	.432
そう思う	59	(36.9%)	55	(32.7%)	114	(34.8%)	
新宿二丁目にHIVや性感染症の予防活動は必要だと思う。							
それ以外	24	(15.0%)	22	(13.1%)	46	(14.0%)	.619
そう思う	136	(85.0%)	146	(86.9%)	282	(86.0%)	

表 9. 居住地および利用施設等、年齢階級別

	24歳以下 (n=31)		25-29歳 (n=48)		30-39歳 (n=57)		40歳以上 (n=54)		合計 (n=190)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
首都圏在住										
それ以外	1	(3.2%)	4	(8.3%)	5	(8.8%)	5	(9.3%)	15	(7.9%)
東京千葉埼玉神奈川在住	30	(96.8%)	44	(91.7%)	52	(91.2%)	49	(90.7%)	175	(92.1%)
利用している施設など（過去6ヵ月）										
1 ゲイバー	28	(90.3%)	41	(85.4%)	42	(73.7%)	44	(81.5%)	155	(81.6%)
2 ゲイナイト	17	(54.8%)	18	(37.5%)	26	(45.6%)	12	(22.2%)	73	(38.4%)
3 ゲイショップ	12	(38.7%)	22	(45.8%)	23	(40.4%)	25	(46.3%)	82	(43.2%)
4 PC出会い系サイト	5	(16.1%)	8	(16.7%)	7	(12.3%)	11	(20.4%)	31	(16.3%)
5 携帯出会い系サイト	10	(32.3%)	10	(20.8%)	12	(21.1%)	18	(33.3%)	50	(26.3%)
6 mixi などの SNS	10	(32.3%)	11	(22.9%)	16	(28.1%)	20	(37.0%)	57	(30.0%)
7 エロ系SNS(HuGs や男子寮など)	0	(0.0%)	5	(10.4%)	3	(5.3%)	6	(11.1%)	14	(7.4%)
8 ゲイ向けアプリ	21	(67.7%)	28	(58.3%)	38	(66.7%)	29	(53.7%)	116	(61.1%)
9 ゲイ向けサークル	9	(29.0%)	2	(4.2%)	13	(22.8%)	8	(14.8%)	32	(16.8%)
10 ゲイ向け合コン	3	(9.7%)	4	(8.3%)	2	(3.5%)	2	(3.7%)	11	(5.8%)
11 ゲイの乱バ	3	(9.7%)	2	(4.2%)	2	(3.5%)	3	(5.6%)	10	(5.3%)
12 有料のハッテン場	14	(45.2%)	14	(29.2%)	29	(50.9%)	20	(37.0%)	77	(40.5%)
13 野外のハッテン場	5	(16.1%)	1	(2.1%)	5	(8.8%)	2	(3.7%)	13	(6.8%)
14 ハッテン場で有名な銭湯・プール等	9	(29.0%)	13	(27.1%)	15	(26.3%)	13	(24.1%)	50	(26.3%)
15 いずれもない	0	(0.0%)	2	(4.2%)	3	(5.3%)	5	(9.3%)	10	(5.3%)
過去6ヵ月間に恋人・彼氏、友達とHIVやエイズについて話したことがありますか？										
ある	20	(64.5%)	26	(54.2%)	36	(63.2%)	35	(64.8%)	117	(61.6%)
ない	11	(35.5%)	22	(45.8%)	21	(36.8%)	19	(35.2%)	73	(38.4%)
過去6ヵ月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？										
いつも持っていた	9	(29.0%)	14	(29.2%)	14	(24.6%)	18	(33.3%)	55	(28.9%)
時々持っていた	12	(38.7%)	16	(33.3%)	17	(29.8%)	19	(35.2%)	64	(33.7%)
持っていなかった	10	(32.3%)	18	(37.5%)	26	(45.6%)	17	(31.5%)	71	(37.4%)

表 10. CB0 による予防啓発活動の認知、年齢階級別

	24歳以下 (n=31)		25-29歳 (n=48)		30-39歳 (n=57)		40歳以上 (n=54)		合計 (n=190)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
新宿2丁目にある「コミュニティセンターakta」という場所を、知っていますか？										
知っている/行ったことがある	16	(51.6%)	25	(52.1%)	36	(63.2%)	27	(50.0%)	104	(54.7%)
知っていて行ってみたい/行ったことはない	4	(12.9%)	8	(16.7%)	3	(5.3%)	13	(24.1%)	28	(14.7%)
知っているが行ってみたいとは思わない	1	(3.2%)	1	(2.1%)	2	(3.5%)	0	(0.0%)	4	(2.1%)
名前は聞いたことがある程度で何か良く知らない	3	(9.7%)	9	(18.8%)	8	(14.0%)	11	(20.4%)	31	(16.3%)
名前も聞いたことがない	7	(22.6%)	5	(10.4%)	8	(14.0%)	3	(5.6%)	23	(12.1%)
aktaが作っているヤローページを読んだことがありますか？										
読んだことがあります今後読みたい	7	(22.6%)	12	(25.0%)	15	(26.3%)	18	(33.3%)	52	(27.4%)
読んだことがあります見かけたら読む	3	(9.7%)	13	(27.1%)	14	(24.6%)	12	(22.2%)	42	(22.1%)
読んだことはあるが今後読もうとは思わない	1	(3.2%)	0	(0.0%)	3	(5.3%)	0	(0.0%)	4	(2.1%)
見かけたことはあるが読んだことはない	11	(35.5%)	10	(20.8%)	11	(19.3%)	11	(20.4%)	43	(22.6%)
知らない	9	(29.0%)	13	(27.1%)	14	(24.6%)	13	(24.1%)	49	(25.8%)
aktaが発行しているakta monthly paperを読んだことがありますか？										
読んだことがあります今後読みたい	11	(35.5%)	14	(29.2%)	19	(33.3%)	24	(44.4%)	68	(35.8%)
読んだことがあります見かけたら読む	1	(3.2%)	11	(22.9%)	15	(26.3%)	10	(18.5%)	37	(19.5%)
読んだことはあるが今後読もうとは思わない	0	(0.0%)	2	(4.2%)	3	(5.3%)	1	(1.9%)	6	(3.2%)
見かけたことはあるが読んだことはない	5	(16.1%)	8	(16.7%)	8	(14.0%)	12	(22.2%)	33	(17.4%)
知らない	14	(45.2%)	13	(27.1%)	12	(21.1%)	7	(13.0%)	46	(24.2%)
新宿二丁目でコンドームなどを配布しているデリバリーボーイズを見かけたことがありますか？										
参加したことがある	5	(16.1%)	7	(14.6%)	8	(14.0%)	4	(7.4%)	24	(12.6%)
見かけたことがある	15	(48.4%)	21	(43.8%)	26	(45.6%)	34	(63.0%)	96	(50.5%)
見たことがない	3	(9.7%)	9	(18.8%)	11	(19.3%)	10	(18.5%)	33	(17.4%)
知らない	8	(25.8%)	11	(22.9%)	12	(21.1%)	6	(11.1%)	37	(19.5%)
aktaが運営している下のWEBサイトをみたことがありますか？										
見たことがある	12	(38.7%)	22	(45.8%)	22	(38.6%)	29	(53.7%)	85	(44.7%)
見たことがない	19	(61.3%)	26	(54.2%)	35	(61.4%)	25	(46.3%)	105	(55.3%)

表 11. CB0 による予防啓発活動に対する共感、年齢階級別

	24歳以下 (n=31)		25-29歳 (n=48)		30-39歳 (n=57)		40歳以上 (n=54)		合計 (n=190)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
aktaの活動は、特別な人がやっているのではなく、自分の仲間がやっている活動だと感じる。										
そう思う	10	(32.3%)	16	(33.3%)	22	(38.6%)	23	(42.6%)	71	(37.4%)
ややそう思う	8	(25.8%)	9	(18.8%)	14	(24.6%)	15	(27.8%)	46	(24.2%)
どちらともいえない	5	(16.1%)	7	(14.6%)	7	(12.3%)	5	(9.3%)	24	(12.6%)
あまりそう思わない	3	(9.7%)	4	(8.3%)	2	(3.5%)	5	(9.3%)	14	(7.4%)
そう思わない	0	(0.0%)	2	(4.2%)	4	(7.0%)	2	(3.7%)	8	(4.2%)
aktaの活動を知らない	5	(16.1%)	10	(20.8%)	8	(14.0%)	4	(7.4%)	27	(14.2%)
aktaのメッセージは、自分への（私への）メッセージだと感じる。										
そう思う	8	(25.8%)	8	(16.7%)	18	(31.6%)	17	(31.5%)	51	(26.8%)
ややそう思う	7	(22.6%)	16	(33.3%)	21	(36.8%)	14	(25.9%)	58	(30.5%)
どちらともいえない	7	(22.6%)	12	(25.0%)	6	(10.5%)	11	(20.4%)	36	(18.9%)
あまりそう思わない	2	(6.5%)	2	(4.2%)	1	(1.8%)	5	(9.3%)	10	(5.3%)
そう思わない	1	(3.2%)	1	(2.1%)	4	(7.0%)	1	(1.9%)	7	(3.7%)
aktaの活動を知らない	6	(19.4%)	9	(18.8%)	7	(12.3%)	6	(11.1%)	28	(14.7%)
aktaの活動に共感する。										
そう思う	11	(35.5%)	16	(33.3%)	27	(47.4%)	27	(50.0%)	81	(42.6%)
ややそう思う	7	(22.6%)	17	(35.4%)	14	(24.6%)	16	(29.6%)	54	(28.4%)
どちらともいえない	5	(16.1%)	5	(10.4%)	5	(8.8%)	6	(11.1%)	21	(11.1%)
あまりそう思わない	2	(6.5%)	2	(4.2%)	1	(1.8%)	0	(0.0%)	5	(2.6%)
そう思わない	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(3.5%)	0	(0.0%)	2	(1.1%)
aktaの活動を知らない	6	(19.4%)	8	(16.7%)	8	(14.0%)	5	(9.3%)	27	(14.2%)
aktaからのメッセージは、HIV（エイズ）や性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる。										
そう思う	13	(41.9%)	12	(25.0%)	22	(38.6%)	23	(42.6%)	70	(36.8%)
ややそう思う	6	(19.4%)	17	(35.4%)	16	(28.1%)	13	(24.1%)	52	(27.4%)
どちらともいえない	5	(16.1%)	9	(18.8%)	6	(10.5%)	9	(16.7%)	29	(15.3%)
あまりそう思わない	0	(0.0%)	2	(4.2%)	1	(1.8%)	2	(3.7%)	5	(2.6%)
そう思わない	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(5.3%)	1	(1.9%)	4	(2.1%)
aktaの活動を知らない	7	(22.6%)	8	(16.7%)	9	(15.8%)	6	(11.1%)	30	(15.8%)
aktaは、新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしていると思う。										
そう思う	11	(35.5%)	15	(31.3%)	22	(38.6%)	20	(37.0%)	68	(35.8%)
ややそう思う	11	(35.5%)	16	(33.3%)	18	(31.6%)	17	(31.5%)	62	(32.6%)
どちらともいえない	4	(12.9%)	8	(16.7%)	6	(10.5%)	8	(14.8%)	26	(13.7%)
あまりそう思わない	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(5.6%)	3	(1.6%)
そう思わない	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(3.5%)	0	(0.0%)	2	(1.1%)
aktaの活動を知らない	5	(16.1%)	9	(18.8%)	9	(15.8%)	6	(11.1%)	29	(15.3%)

表 12. コミュニティ感覚、年齢階級別

	24歳以下 (n=31)		25-29歳 (n=48)		30-39歳 (n=57)		40歳以上 (n=54)		合計 (n=190)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
新宿二丁目にいて、安心感のようなものを感じる。										
そう思う	11	(35.5%)	15	(31.3%)	20	(35.1%)	21	(38.9%)	67	(35.3%)
ややそう思う	11	(35.5%)	15	(31.3%)	18	(31.6%)	18	(33.3%)	62	(32.6%)
どちらともいえない	7	(22.6%)	11	(22.9%)	11	(19.3%)	7	(13.0%)	36	(18.9%)
あまりそう思わない	2	(6.5%)	7	(14.6%)	4	(7.0%)	6	(11.1%)	19	(10.0%)
そう思わない	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(7.0%)	2	(3.7%)	6	(3.2%)
新宿二丁目に、誇りとか愛着のようなものを感じる。										
そう思う	10	(32.3%)	10	(20.8%)	12	(21.1%)	14	(25.9%)	46	(24.2%)
ややそう思う	7	(22.6%)	15	(31.3%)	16	(28.1%)	24	(44.4%)	62	(32.6%)
どちらともいえない	12	(38.7%)	16	(33.3%)	16	(28.1%)	9	(16.7%)	53	(27.9%)
あまりそう思わない	2	(6.5%)	6	(12.5%)	6	(10.5%)	4	(7.4%)	18	(9.5%)
そう思わない	0	(0.0%)	1	(2.1%)	7	(12.3%)	3	(5.6%)	11	(5.8%)
新宿二丁目でしか得られないものがあると思う。										
そう思う	17	(54.8%)	24	(50.0%)	19	(33.3%)	32	(59.3%)	92	(48.4%)
ややそう思う	11	(35.5%)	19	(39.6%)	19	(33.3%)	11	(20.4%)	60	(31.6%)
どちらともいえない	3	(9.7%)	4	(8.3%)	7	(12.3%)	6	(11.1%)	20	(10.5%)
あまりそう思わない	0	(0.0%)	0	(0.0%)	9	(15.8%)	3	(5.6%)	12	(6.3%)
そう思わない	0	(0.0%)	1	(2.1%)	3	(5.3%)	2	(3.7%)	6	(3.2%)
新宿二丁目のために何か私ができることがあれば参加や協力をしたいと思う。										
そう思う	15	(48.4%)	14	(29.2%)	17	(29.8%)	18	(33.3%)	64	(33.7%)
ややそう思う	8	(25.8%)	17	(35.4%)	23	(40.4%)	19	(35.2%)	67	(35.3%)
どちらともいえない	7	(22.6%)	12	(25.0%)	8	(14.0%)	14	(25.9%)	41	(21.6%)
あまりそう思わない	1	(3.2%)	3	(6.3%)	5	(8.8%)	2	(3.7%)	11	(5.8%)
そう思わない	0	(0.0%)	2	(4.2%)	4	(7.0%)	1	(1.9%)	7	(3.7%)
新宿二丁目のHIV（エイズ）や性感染症の予防活動に、自分も何らかの形で参加や協力をしたいと思う。										
そう思う	12	(38.7%)	10	(20.8%)	20	(35.1%)	17	(31.5%)	59	(31.1%)
ややそう思う	8	(25.8%)	21	(43.8%)	20	(35.1%)	21	(38.9%)	70	(36.8%)
どちらともいえない	8	(25.8%)	12	(25.0%)	10	(17.5%)	11	(20.4%)	41	(21.6%)
あまりそう思わない	3	(9.7%)	2	(4.2%)	4	(7.0%)	4	(7.4%)	13	(6.8%)
そう思わない	0	(0.0%)	3	(6.3%)	3	(5.3%)	1	(1.9%)	7	(3.7%)
新宿二丁目では、HIV（エイズ）について話をするごとに、タブー感（ためらい）がある。										
そう思う	10	(32.3%)	6	(12.5%)	6	(10.5%)	7	(13.0%)	29	(15.3%)
ややそう思う	5	(16.1%)	8	(16.7%)	16	(28.1%)	11	(20.4%)	40	(21.1%)
どちらともいえない	10	(32.3%)	16	(33.3%)	13	(22.8%)	17	(31.5%)	56	(29.5%)
あまりそう思わない	3	(9.7%)	10	(20.8%)	7	(12.3%)	13	(24.1%)	33	(17.4%)
そう思わない	3	(9.7%)	8	(16.7%)	15	(26.3%)	6	(11.1%)	32	(16.8%)
新宿二丁目にHIV（エイズ）や性感染症の予防活動は必要だと思う。										
そう思う	25	(80.6%)	35	(72.9%)	42	(73.7%)	44	(81.5%)	146	(76.8%)
ややそう思う	5	(16.1%)	9	(18.8%)	9	(15.8%)	9	(16.7%)	32	(16.8%)
どちらともいえない	0	(0.0%)	3	(6.3%)	4	(7.0%)	1	(1.9%)	8	(4.2%)
あまりそう思わない	1	(3.2%)	1	(2.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.1%)
そう思わない	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(3.5%)	0	(0.0%)	2	(1.1%)

表 13. HIV 検査受検経験と性感染症罹患経験、年齢階級別

	24歳以下 (n=31)		25-29歳 (n=48)		30-39歳 (n=57)		40歳以上 (n=54)		合計 (n=190)	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
生涯のHIV検査受検経験										
ある	17	(54.8%)	35	(72.9%)	43	(75.4%)	47	(87.0%)	142	(74.7%)
ない	14	(45.2%)	13	(27.1%)	14	(24.6%)	7	(13.0%)	48	(25.3%)
一番最近にHIV検査を受けた時期										
6か月以内	10	(58.8%)	18	(51.4%)	17	(39.5%)	12	(25.5%)	57	(40.1%)
6か月から1年以内	3	(17.6%)	5	(14.3%)	6	(14.0%)	10	(21.3%)	24	(16.9%)
1年から3年以内	4	(23.5%)	7	(20.0%)	12	(27.9%)	18	(38.3%)	41	(28.9%)
3年以上前	0	(0.0%)	5	(14.3%)	8	(18.6%)	7	(14.9%)	20	(14.1%)
これまでに罹患したことがある性感染症										
1 梅毒	0	(0.0%)	3	(6.3%)	10	(17.5%)	11	(20.4%)	24	(12.6%)
2 A型肝炎	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(3.5%)	3	(5.6%)	5	(2.6%)
3 B型肝炎	1	(3.2%)	1	(2.1%)	6	(10.5%)	14	(25.9%)	22	(11.6%)
4 C型肝炎	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.8%)	0	(0.0%)	1	(0.5%)
5 クラミジア	1	(3.2%)	0	(0.0%)	3	(5.3%)	8	(14.8%)	12	(6.3%)
6 尖圭コンジローマ	0	(0.0%)	2	(4.2%)	2	(3.5%)	7	(13.0%)	11	(5.8%)
7 淋病	1	(3.2%)	1	(2.1%)	3	(5.3%)	4	(7.4%)	9	(4.7%)
8 HIV 感染症	1	(3.2%)	2	(4.2%)	4	(7.0%)	10	(18.5%)	17	(8.9%)
9 赤痢アメーバ	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.8%)	2	(3.7%)	3	(1.6%)
10 毛じらみ	4	(12.9%)	12	(25.0%)	12	(21.1%)	21	(38.9%)	49	(25.8%)
11 性器ヘルペス	1	(3.2%)	1	(2.1%)	2	(3.5%)	5	(9.3%)	9	(4.7%)
12 その他	0	(0.0%)	2	(4.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(1.1%)
13 いずれもない	24	(77.4%)	30	(62.5%)	33	(57.9%)	14	(25.9%)	101	(53.2%)

表 14. CB0 活動への共感とコミュニティ感覚（2 区分）、HIV 検査受検経験別

	生涯でのHIV検査受検経験			1年以内のHIV検査受検			3年以内のHIV検査受検		
	ある	ない	p 値	ある	ない	p 値	ある	ない	p 値
	(n=142)	(n=48)		(n=81)	(n=109)		(n=122)	(n=68)	
	n (列%)	n (列%)		n (列%)	n (列%)		n (列%)	n (列%)	
aktaの活動は、特別な人がやっているのではなく、自分の仲間がやっている活動だと感じる。									
そう思う/まあそう思う	94 (66.2%)	23 (47.9%)	0.024	50 (61.7%)	67 (61.5%)	0.971	79 (64.8%)	38 (55.9%)	0.228
それ以外	48 (33.8%)	25 (52.1%)		31 (38.3%)	42 (38.5%)		43 (35.2%)	30 (44.1%)	
aktaのメッセージは、自分への（私への）メッセージだと感じる。									
そう思う/まあそう思う	88 (62.0%)	21 (43.8%)	0.027	51 (63.0%)	58 (53.2%)	0.179	75 (61.5%)	34 (50.0%)	0.125
それ以外	54 (38.0%)	27 (56.3%)		30 (37.0%)	51 (46.8%)		47 (38.5%)	34 (50.0%)	
aktaの活動に共感する。									
そう思う/まあそう思う	108 (76.1%)	27 (56.3%)	0.009	60 (74.1%)	75 (68.8%)	0.429	93 (76.2%)	42 (61.8%)	0.035
それ以外	34 (23.9%)	21 (43.8%)		21 (25.9%)	34 (31.2%)		29 (23.8%)	26 (38.2%)	
aktaからのメッセージは、HIV（エイズ）や性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる。									
そう思う/まあそう思う	98 (69.0%)	24 (50.0%)	0.018	58 (71.6%)	64 (58.7%)	0.067	85 (69.7%)	37 (54.4%)	0.035
それ以外	44 (31.0%)	24 (50.0%)		23 (28.4%)	45 (41.3%)		37 (30.3%)	31 (45.6%)	
aktaは、新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしていると思う。									
そう思う/まあそう思う	102 (71.8%)	28 (58.3%)	0.082	60 (74.1%)	70 (64.2%)	0.148	88 (72.1%)	42 (61.8%)	0.141
それ以外	40 (28.2%)	20 (41.7%)		21 (25.9%)	39 (35.8%)		34 (27.9%)	26 (38.2%)	
新宿二丁目にいますと、安心感のようなものを感じる。									
そう思う/まあそう思う	101 (71.1%)	28 (58.3%)	0.1008	64 (79.0%)	65 (59.6%)	0.005	91 (74.6%)	38 (55.9%)	0.008
それ以外	41 (28.9%)	20 (41.7%)		17 (21.0%)	44 (40.4%)		31 (25.4%)	30 (44.1%)	
新宿二丁目に、誇りとか愛着のようなものを感じる。									
そう思う/まあそう思う	86 (60.6%)	22 (45.8%)	0.0749	47 (58.0%)	61 (56.0%)	0.777	72 (59.0%)	36 (52.9%)	0.418
それ以外	56 (39.4%)	26 (54.2%)		34 (42.0%)	48 (44.0%)		50 (41.0%)	32 (47.1%)	
新宿二丁目でしか得られないものがあると思う。									
そう思う/まあそう思う	118 (83.1%)	34 (70.8%)	0.0663	72 (88.9%)	80 (73.4%)	0.008	101 (82.8%)	51 (75.0%)	0.198
それ以外	24 (16.9%)	14 (29.2%)		9 (11.1%)	29 (26.6%)		21 (17.2%)	17 (25.0%)	
新宿二目的のために何か私ができることがあれば参加や協力をしたいと思う。									
そう思う/まあそう思う	100 (70.4%)	31 (64.6%)	0.4497	59 (72.8%)	72 (66.1%)	0.318	86 (70.5%)	45 (66.2%)	0.538
それ以外	42 (29.6%)	17 (35.4%)		22 (27.2%)	37 (33.9%)		36 (29.5%)	23 (33.8%)	
新宿二目的のHIV（エイズ）や性感染症の予防活動に、自分も何らかの形で参加や協力をしたいと思う。									
そう思う/まあそう思う	101 (71.1%)	28 (58.3%)	0.1008	58 (71.6%)	71 (65.1%)	0.345	89 (73.0%)	40 (58.8%)	0.046
それ以外	41 (28.9%)	20 (41.7%)		23 (28.4%)	38 (34.9%)		33 (27.0%)	28 (41.2%)	
新宿二丁目では、HIV（エイズ）について話することに、タブー感（ためらい）がある。									
そう思う/まあそう思う	53 (37.3%)	16 (33.3%)	0.6192	34 (42.0%)	35 (32.1%)	0.162	46 (37.7%)	23 (33.8%)	0.594
それ以外	89 (62.7%)	32 (66.7%)		47 (58.0%)	74 (67.9%)		76 (62.3%)	45 (66.2%)	
新宿二目にHIV（エイズ）や性感染症の予防活動は必要だと思う。									
そう思う/まあそう思う	136 (95.8%)	42 (87.5%)	0.042	79 (97.5%)	99 (90.8%)	0.060	118 (96.7%)	60 (88.2%)	0.021
それ以外	6 (4.2%)	6 (12.5%)		2 (2.5%)	10 (9.2%)		4 (3.3%)	8 (11.8%)	

表 15. CB0 活動への共感とコミュニティ感覚、性感染症罹患経験別、アナルセックス時のコンドーム使用別

コミュニティ感覚と性感染症罹患経験 コンドーム使用										
	何らかの性感染症に罹患した経験				一番最近のアナルセックス時のコンドーム使用					
	ある		ない		使った		使わなかった/不明			
	(n=89)		(n=101)		(n=115)		(n=58)			
	n	(列%)	n	(列%)	p 値	n	(列%)	n	(列%)	p 値
aktaの活動は、特別な人がやっているのではなく、自分の仲間がやっている活動だと感じる。										
そう思う/まあそう思う	62	(69.7%)	55	(54.5%)	0.032	76	(66.1%)	34	(58.6%)	0.335
それ以外	27	(30.3%)	46	(45.5%)		39	(33.9%)	24	(41.4%)	
aktaのメッセージは、自分への（私への）メッセージだと感じる。										
そう思う/まあそう思う	56	(62.9%)	53	(52.5%)	0.146	70	(60.9%)	32	(55.2%)	0.472
それ以外	33	(37.1%)	48	(47.5%)		45	(39.1%)	26	(44.8%)	
aktaの活動に共感する。										
そう思う/まあそう思う	69	(77.5%)	66	(65.3%)	0.065	82	(71.3%)	42	(72.4%)	0.878
それ以外	20	(22.5%)	35	(34.7%)		33	(28.7%)	16	(27.6%)	
aktaからのメッセージは、HIV（エイズ）や性感染症に対して前向きで話しやすい雰囲気を感じる。										
そう思う/まあそう思う	58	(65.2%)	64	(63.4%)	0.796	73	(63.5%)	39	(67.2%)	0.625
それ以外	31	(34.8%)	37	(36.6%)		42	(36.5%)	19	(32.8%)	
aktaは、新宿二丁目の雰囲気に溶け込んだ活動をしていると思う。										
そう思う/まあそう思う	64	(71.9%)	66	(65.3%)	0.331	76	(66.1%)	45	(77.6%)	0.119
それ以外	25	(28.1%)	35	(34.7%)		39	(33.9%)	13	(22.4%)	
新宿二丁目にいると、安心感のようなものを感じる。										
そう思う/まあそう思う	59	(66.3%)	70	(69.3%)	0.657	75	(65.2%)	44	(75.9%)	0.154
それ以外	30	(33.7%)	31	(30.7%)		40	(34.8%)	14	(24.1%)	
新宿二丁目に、誇りとか愛着のようなものを感じる。										
そう思う/まあそう思う	55	(61.8%)	53	(52.5%)	0.195	64	(55.7%)	36	(62.1%)	0.420
それ以外	34	(38.2%)	48	(47.5%)		51	(44.3%)	22	(37.9%)	
新宿二丁目でしか得られないものがあると思う。										
そう思う/まあそう思う	71	(79.8%)	81	(80.2%)	0.942	95	(82.6%)	45	(77.6%)	0.427
それ以外	18	(20.2%)	20	(19.8%)		20	(17.4%)	13	(22.4%)	
新宿二丁目のために何か私ができることがあれば参加や協力をしたいと思う。										
そう思う/まあそう思う	63	(70.8%)	68	(67.3%)	0.607	83	(72.2%)	36	(62.1%)	0.176
それ以外	26	(29.2%)	33	(32.7%)		32	(27.8%)	22	(37.9%)	
新宿二丁目のHIV（エイズ）や性感染症の予防活動に、自分も何らかの形で参加や協力をしたいと思う。										
そう思う/まあそう思う	63	(70.8%)	66	(65.3%)	0.423	85	(73.9%)	34	(58.6%)	0.040
それ以外	26	(29.2%)	35	(34.7%)		30	(26.1%)	24	(41.4%)	
新宿二丁目では、HIV（エイズ）について話をするごとに、タブー感（ためらい）がある。										
そう思う/まあそう思う	34	(38.2%)	35	(34.7%)	0.612	42	(36.5%)	23	(39.7%)	0.688
それ以外	55	(61.8%)	66	(65.3%)		73	(63.5%)	35	(60.3%)	
新宿二丁目にHIV（エイズ）や性感染症の予防活動は必要だと思う。										
そう思う/まあそう思う	87	(97.8%)	91	(90.1%)	0.030	111	(96.5%)	55	(94.8%)	0.593
それ以外	2	(2.2%)	10	(9.9%)		4	(3.5%)	3	(5.2%)	